

DVD (人権教育)

NO	題名	時間	内容	利用対象	購入	区分	登録番号	備考欄
1	エールを贈るバス	29	直子の母は、障害のある少女の心を傷つけてしまう。直子はすぐに母の間違いに気づき、心を傷つけた少女智香に、母と謝りに行く。勇気を出して謝ったことで、直子と智香の友情が芽生え、直子たちは、障害者も健常者も同じ社会の一員として認め合う事の大切さを学ぶ、感動の児童向き人権問題啓発映画である。	小学生	H17	Ji	D5	
2	同級生	30	この作品は30年前、部落差別が原因で物別れになってしまった二人の父親が、子どもたちや家族同士のふれあいの中で再び部落差別と向き合いながら友情を取り戻していく姿を描いています。この作品を通して、自分自身の心をつめることの大切さ、人として生きるうえで親が子どもに伝えなければならないことは何か、今一度家庭における教育の大切さを考えるための手がかりにしたいと思っています。	小～一般	H19	Ji	D23	
3	泣いて笑って涙して ポコアポコ	53	大阪府松原市に住む、車いすの福井千佳さんが障害をもちながら、空き缶を拾ってそれをお金に替えそのお金で、お年寄りに車いすを5年間に100台も贈った、心温まる実話の映画化です。千佳さんの日常生活を通して、苦難の努力と、お母さんの力強い生き方を、人々の暖かい励ましをまじえて描き、明るい社会を目指す感動的な作品として制作されました。	小～一般	H19	Ji	D24	
4	こころに咲く花	35	いじめのない、人権文化の息づく社会をつくるために ～パワハラ、子どものいじめを通して～ 今、学校や地域でのいじめ、職場でのパワハラ、セクハラが人権侵害とした大きな社会問題になっています。 いじめは決して他人事ではなく、「私」「自分」の問題なのです。それは、いじめに関して私たちは皆、いずれかの形で加害者、被害者、観衆、傍観者のなかにいると言われているからです。そのことを自覚しているか、いないかで状況は大きく変わってきます。	一般	H20	Ji	D37	
5	ありったけの勇気	27	「いじめはやめよう」と言える勇気を子どもたちに伝えたい 子どもたちは「いじめは良くない・悪いことだ」と心の中では思っている、「自分がいじめられるのでは？」という不安から、いじめ側に回ったり、見て見ないふりをしてしまうのではないのでしょうか。このドラマでは、友達との関わりや相手の気持ちを考えることの大切さ、いじめをなくすためにお互いに認め合い、本音で話せる関係づくりなど、いじめに立ち向かう勇気の大切さを伝えます。	小	H21	Ji	D57	
6	親愛なる、あなたへ	37	現在、都市化や核家族化が進行し、地域社会における人々の結びつきが弱まっています。近隣同士であってもお互いに無関心、無理解でいることにより、様々な人権問題が起きています。本来、地域の主人公はそこに暮らすすべての人々であるはずですが、実際には、自分も「まちづくり」の主人公であることをすっかり忘れて、他人任せになりがちです。このドラマは、一人の人間の気づきと再生を中心に描いています。一人一人の「気づき」こそが、互いに支え合う力が低下した地域の「再生」につながります。無関心、無理解という冷たい壁を破って、温かい見守りと相互支援を進めることの大切さを語りかけます。地域に関わる全ての人が、同じ社会の構成員として、よりよい暮らしづくりを実践する地域社会を創造していくために、このドラマを制作しました。	一般	H21	Ji	D58	
7	小学生のための人権パート1 思いこみに気づく	14	テーマ1「思いこみって何だろう？」 テーマ2「ちがいを受け入れる」	小	H22	Ji	D67	
8	あの空の向こうに	38	私たちが普段何気なく使っているケータイやインターネットがある日突然「凶器」に変わってしまう・ケータイやインターネットによる人権侵害は、いつだれの身に起きても不思議ではない深刻な問題です。だれもが被害者に、そして加害者にもなり得るのです。	一般	H22	Ji	D68	
9	障害のある人との ふれあいと人権	23	安心して暮らせる社会を築いて行くためには、健常者と障害者が助け合うことが重要である。街で障害者に出会ったとき、どのように行動したらよいか、実際の場面を見ながら考えていきます。	一般	H22	Ji	D69	
10	北朝鮮による日本人拉致問題 啓発アニメ めぐみ	25	拉致という、自由を奪う行為を忘れないでください。	小～一般	H22 ～ 23	S・Ji	D79	
11	探梅(たんばい) 春、遠からじ (アニメーション)	40	人権問題の多くは、人を排除する意識から生まれ、人が孤立することで深刻化していきます。しかし「困ったときはお互い様」。その気持ちが人を温かく結び付け、助け合う社会へと導きます。私たちは、「排除」や「孤立」を生み出す社会ではなく、互いに違いを認め、支えあい、あらゆる人を包み込む社会をつくっていきたくと考えます。この映画では、北九州市が展開する「いのちをつなぐネットワーク」を取り上げながら、「包み込む社会」に焦点を当ててみました。人と人とのつながりや助け合いの根拠となる人権尊重について考えていただければ幸いです。	一般	H23	Ji	D98	
12	それぞれの立場それぞれの きもち	28	一連のドラマの中で、日常の職場で起こりそうな出来事を取り上げます。年代や経験、価値観の異なるメンバーそれぞれがどのような思いを持っているのかを描き、コミュニケーションの重要性やダイバーシティの考えに沿って問題解決のヒントを示しています。 ①働く女性たち～仕事と家庭の間で～ ②上司と部下～思い込みが生むすれ違い～ ③こころの健康と周囲の気づき～職場のメンタルヘルス～ ④働き方と働きがい～仕事のモチベーション～ ⑤仲間への思いやり～相手の気持ちを想像する～ ⑥ユニバーサルデザインが教えてくれること～仲間の多様さを知る～ ⑦職場のダイバーシティ～多様な仲間を受け入れる～	一般	H23	Ji	D99	

DVD (人権教育)

NO	題名	時間	内容	利用対象	購入	区分	登録番号	備考欄
13	クリームパン 「いのちと人権」～つながるいのちを感じて～ (実写版)	36	子どもや若者たちの間で、あまりにも軽く使われる「死にたい」「死ぬ」「殺すぞ」といった言葉。それは、彼らが「いのち」の尊さに気づいていないことの表れでしょう。もしかしたら、大人も気づいていないのかもしれない。「いのち」とは温かく、ずっしりと重いもの。一度失われたら、二度と再生しないもの。このドラマは、人によって生かされ、つながっていく「いのち」を中心に描いています。虐待やいじめなど、人を傷つけ、いのちを奪うのも「人」ならば、傷つき、死に瀕している人のいのちを救うのもまた「人」なのです。人と人がふれあい、心を通わせることで救えるいのちがあります。子どもへの虐待や若者の自殺など社会問題になっている事件を通して、社会や地域の中で孤立している人々に対する正しい理解を訴えるとともに、このドラマを見た方々に、今一度「いのち」について自分の問題として考えていただけるような人権啓発ビデオを制作しました。	一般	H23	Ji	D100	
14	人権のヒント 地域編 (実写版)	25	街の喫茶店「カフェ・ヒューマンライツ」のママのところに、さまざまな思いをいだいた人々が集ってくる。その交流のなかから、「人権のヒント」を考え、それぞれの違いを思いやる心の大切さを理解していく内容。 ■結婚したら女は家庭に入るのが常識？ ■障がいのある人は何が何でも介護されるべき存在でしょうか？ ■自分を通すために強く主張して相手を傷つけたり、いい出せなくて自分が傷ついてしまったりしたことはありませんか？ ■同和問題や外国人差別など、根拠のない思い込みと決めつけはありませんか？	一般	H23	Ji	D101	